

千野から経過のご報告

1 件のメッセージ

千野直一 <[REDACTED]>

2018年12月11日 15:27

To: 白楽ロックビル (Haklak RB) 先生 <haklak@haklak.com>

平成30年12月11日

白楽ロックビル先生 侍史

日本リハビリテーション医学会 元理事長

慶應義塾大学 名誉教授

千野直一

前略

お世話になります。本年2月19日に先生にご相談申し上げ、ネカトに掲載していただいた千野直一です。

小生のライフワークであります「脳卒中機能評価法：Stroke Impairment Assessment Set: (以下、「SIAS」と略)」の研究業績並びに原著論文を後輩の里宇明元君に全て盗用され、日本語版：脳卒中治療ガイドラインの英語訳版でしたので、2011年以降出版される国際的な多くの英文論文、一部、日本語論文でも、「SIAS」研究業績はLiu MIになっております。

本年2月19日のメールにて詳細は御報告致しましたが、日本語版：脳卒中治療ガイドラインは我が国の脳卒中治療に関する、複数の医学会、厚労省研究班などが関わっております。そのために文科省の研究行為不正窓口へ告発致しました。そして、慶應義塾コンプライアンス委員会へ回付されました。

先のメールで御報告致しましたが、現在の慶應義塾大学でのコンプライアンス委員会ならびに慶應義塾大学のガバナンスが弱体しているとの噂がございましたが、その噂通り、本年6月20日、総務部「窓口」からの回答で、「本調査の必要がない」とされ、握り潰されました（資料A）。

しかしながら、回答文の内容が文科省の指導指針に沿っているとは到底考えられず、本年11月28日、文科省研究不正窓口へ再告発致しました。

そして、12月5日付で、文科省から慶應義塾コンプライアンス委員会への指導通達（資料B）が出された旨のメールを頂きました。

白楽ロックビル先生のネカト記事は今や研究不正行為情報のバイブルとなっております。この度、私が被った被害状況を先生に御報告し、今後の我が国での研究行為に不正がおこらないために、ネカトの資料にして頂きたく御報告申し上げる次第です。

なお、今回の里宇明元君のSIAS研究業績盗用並びに論文盗用事件が、ネカト記事では「盗用」ではなく「引用」となっております。しかしながら、SIAS原著論文のcitationの実情から、実質的にはSIAS研究業績が盗用され、原著論文の剽窃されていることは隠しようもない事実であります。

被害者の立場から本事件を単に「引用」ではなく、「不正引用」としてネカト記事に掲載して頂きたいと切に願うところであります。

宜しく願い申し上げます。

草々